

大規模言語モデルを活用した診療録解析の有効性検証

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

近年、生成 AI¹ の一種である大規模言語モデル² の進化が注目されています。大規模言語モデルは、膨大なテキストデータから有用と思われる言語のパターンを学習し、文章作成や要約などのテキストに関わるタスクを高い精度で行うことができる深層学習モデル³ です。

大規模言語モデルを活用し、医療者の観察や判断、行為など膨大なデータが記録されている診療記録から有用な情報を抽出し、解析することで疾患に対する医療者の理解を効率化させ、疾患の治療過程において改善に寄与すると考えられます。

本研究では大規模言語モデルを用いた診療記録を解析の精度を検証します。研究のために新たな情報収集や検査を行うとはありません。

¹ 人間が作ったデータやルールに基づいて、新しいコンテンツや情報を作り出すことができる人工知能のことです。例えば、文章や画像、音楽などを生成 AI に依頼すると、それらに似たものを自動的に作ってくれます。

² インターネット上の大量のテキストデータを学習して、言語のパターンや意味を理解することができる人工知能のモデルのことです。例えば、質問に答えたり、文章を書いたり、会話をしたりすることができます。

³ コンピュータが自分でデータの特徴を学び取り、人間のように物事を判断できるようにする技術です。例えば、猫の写真をたくさん見せると、コンピュータは猫の形や色などの特徴を自動で抽出し、新しい写真が猫かどうかを判別できるようになります。

研究の対象となる方

2017年11月～2023年5月に検査・加療目的で入院した症例

使用する試料・情報

各種診察記事、年齢、性別、病歴、臨床的重症度、ADLなどの基本的な情報や血液検査等の診療に関する情報

利用開始予定日：2023年9月29日

研究予定期間

2023年9月29日～2026年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが、氏名や生年月日等の個人情報を可能な限り削除した上で使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、その際は個人が特定されないよう氏名等を完全に削除した情報や集計結果のみを用いますので、患者さんのプライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 医療情報調査分析研究所 小妻幸男

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用・提供されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利

用・提供を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 小妻 幸男 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	--